

これまでの取組	課題	今後の取組の方向性
キャリア教育資料作成委員会の設立 ・検討委員(11名)による作成委員会を開催(計4回) (小学校長会・中学校長会代表、小学校教育研究会・中学校教育研究会代表、教育事務所指導主事) 富山県版キャリア・パスポート例示資料の特徴 ○ 自己評価シートの導入 ・年度始めと年度末に自己評価するシートを設けることで、一人一人が自らの成長を実感する機会の創出 ○ 地域活動の学びを記録するシートの導入 ・地域活動の学びを記録するシートを設けることで、地域への愛着を深める機会の創出	キャリア教育の理解不足 ・特定の体験活動をキャリア教育と認識 ・教科等の学習指導等、全教育活動を通じてキャリア教育を実践することの理解が不足 キャリア・パスポートの周知・理解が不十分 ・令和2年4月より「キャリア・パスポート」の活用が始まることの周知が不十分 ・「キャリア・パスポート」が小学校入学から高等学校卒業まで、学年、校種を越えて持ち上げることの理解が不足 ・「キャリア・パスポート」の効果的な活用に関する知見が不足	「キャリア・パスポート」の活用を図るための丁寧な周知 ○ 校長会の理事会や教頭会の地区代表が集まる研修会等で、周知を図る。 ○ 小学校教育課程研究大会(特別活動部会)、中学校教育課程研究大会(特別活動部会)での指導助言の折に「キャリア・パスポート」について説明することで、周知を図る。 ○ 学校訪問研修等を通じて、各学校の「キャリア・パスポート」に係る活用事例や子供の高まり等を収集し、参考となる事例を他校に広める。

1 概要

- 次期学習指導要領において、情報活用能力の育成が重要とされている。
- ICTを活用した学習指導の充実を図ることが求められている。



- ICTを活用した授業改善に取り組む市町村を支援する。
- ICTを効果的に活用して指導する教員の能力を高めるとともに、効果的な活用を全県下に広める。

2 事業の内容

- ① 支援内容 県 1/3 市町村 2/3
- ② 市町村の主な取組み
 - ・大学教授などの外部講師招聘
 - ・品川区や荒川区などの先進校の視察
 - ・参考図書や参考DVDの購入

3 今後の取組の方向性

- 引き続き、各市町村における研究授業や研修の成果を公開することにより、ICTの効果的な活用を全県下に広め、情報活用能力の育成や学習指導の充実を図る。

